

習志野市子どもの生活に関する実態調査について(報告)

1. 調査の概要

一人ひとりの子どもが夢と希望を持ち、自分らしく社会の一員として自立できるための有効な支援を導くために、本市の子どもの生活状況等の実態を把握すると共に、生活困窮が子どもの健康や生活状況に与える影響や、またその要因等について調査・分析します。

	子ども調査	保護者調査
調査対象	習志野市立学校及び公立特別支援学校に通う、小学5年生(1,458人)および中学2年生(1,413人) 2,871人	子ども調査対象者の保護者 2,871人
調査方法	学校配布、学校回収 ※特別支援学校は学校配布、郵送回収	学校配布、郵送回収
調査期間	平成29年10月18日～11月14日	
回収結果	回収数 2,767件(回収率 96.4%) 【内訳】 小学5年生:1,415人(回収率 97.1%) 中学2年生:1,352人(回収率 95.7%)	回収数 1,651件(回収率 57.5%) 【内訳】 小学5年生:886人(回収率 60.8%) 中学2年生:765人(回収率 54.1%)

2. 今後のスケジュール

時期	実施内容
平成30年2月	集計・分析実施
平成30年3月頃	実態調査結果報告書提出

今回の調査の結果につきましては、統計的に分析を行い、広く子どもの支援施策の充実に向け活用します。効果的な施策については、横断的な対応が必要なことから、全庁的な視点に立って検討を行います。